

インタラクティブ プレゼンテーション パターンズ

~ (本番バージョン) ~

2004/10/6

永和システムマネジメント

平鍋健児、天野勝

協力 懸田剛

アジェンダ

- 自己紹介 (+ アイスブレイカー)
- パターンの概要
- パターン紹介
 - 今日はどこから?
 - うなづき
 - 二人作業
 - その場修正
 - 会場へのダイブ
 - 小さな表彰
 - 個人名の呼びかけ
 - 思いの伝達
- まとめ

みなさん、今日は
どこからきましたか？





このパターンの概要

- XP アンギャで獲得した、「よいプレゼンテーション」、
「参加者を巻込むプレゼンテーション」の技をパターン化
 - プレゼンタ: プレゼンテーションを行う人
 - オーディエンス: プレゼンテーションの参加者
 - 見るだけ、聞くだけでは済まされない
- このパターンを適用することで、参加者との心理的な距離が近づきやすくなる
 - プレゼンタの思いを伝えやすくする、心理的土壌を養う
 - 最終的には、コンテンツの良し悪しで決まる

XP アンギャとは？

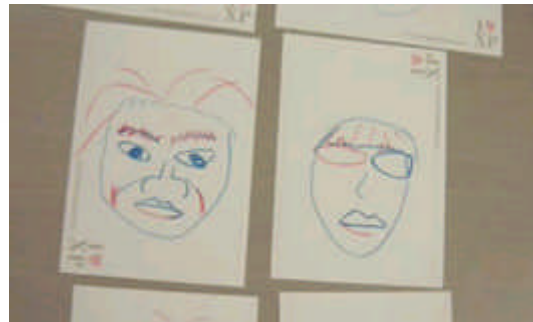
- オブジェクト倶楽部が開催した、「2003年全国XPセミナー」の通称。
- 2003年4月～、仙台、福岡、札幌、京都、浜松、福井、東京と7箇所を巡って、「XPの体験型ワークショップ」を開催。二日間コース。



今日、ここに来た
目的は何ですか？

XPアンギヤ追体験！ ペアドロー

- ペアプログラミングの効果を疑似体験する。
- プログラムではなく 似顔絵を描く。
- まずは一人で、次に二人でやってみる。

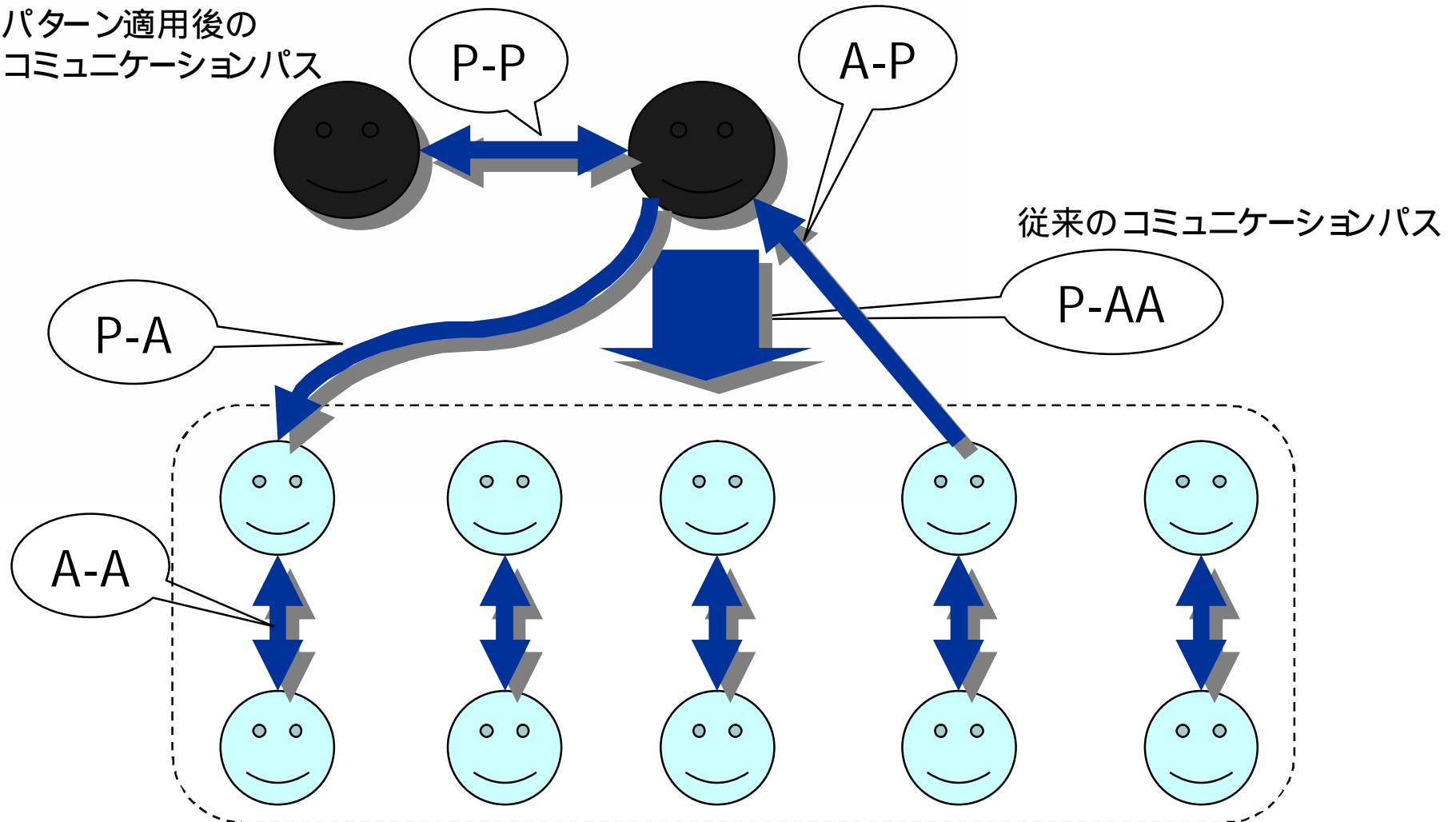


さて、ようやくパターンのお話です。

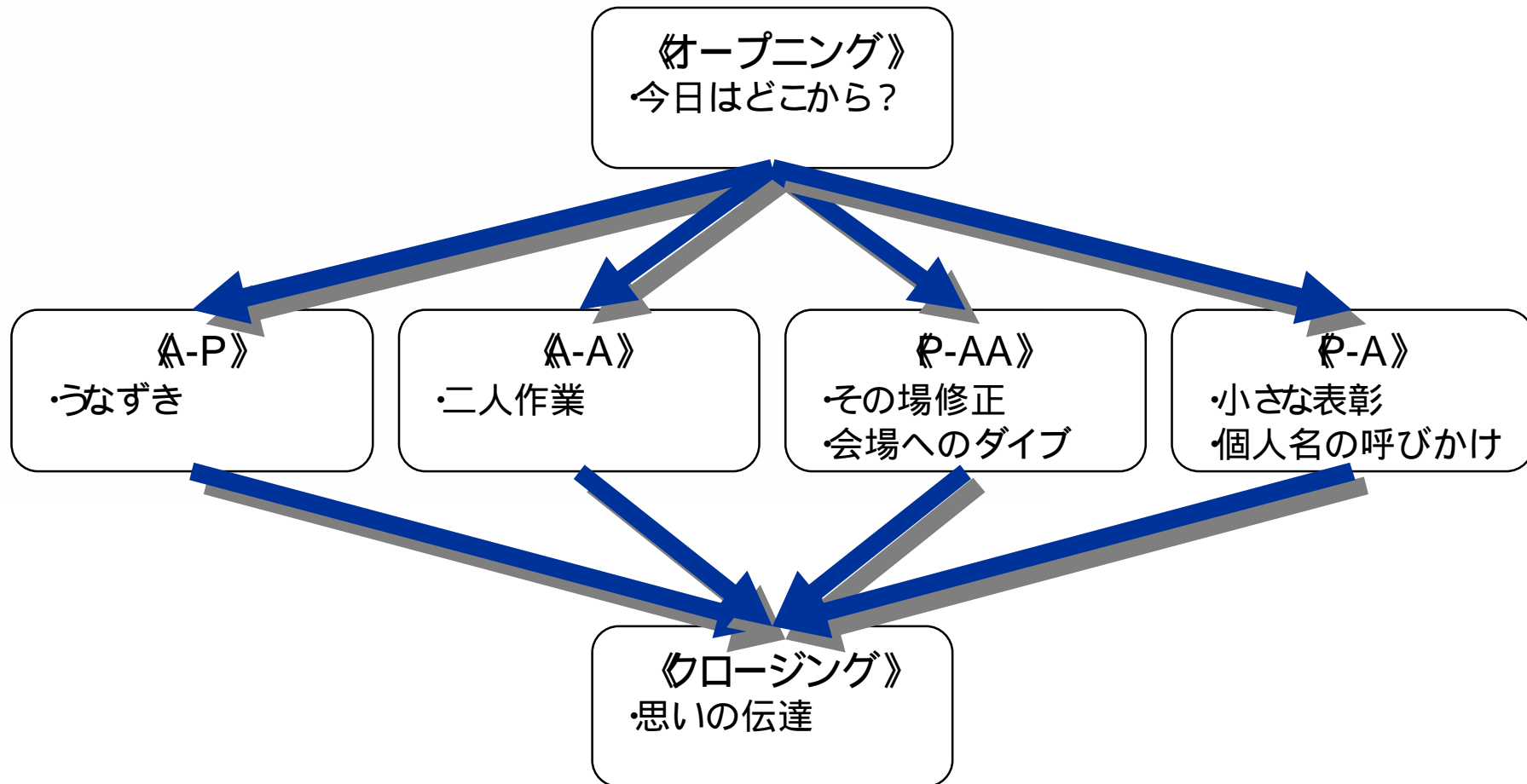
インタラクティブ プレゼンテーション パターンズ

このパターン適用の効果

パターン適用後の
コミュニケーションパス



パターンマップ



今日はどこから？

■ 文脈・問題

- プレゼンテーションは、和やかな雰囲気で行いたい。プレゼンテーションの最初には、自己紹介をするだろう。その際に、できればオーディエンスとインタラクションをとりたい。そのファーストコンタクトはどのように行えば、自然だろうか？

■ 解法

- オーディエンスに、「今日はみなさん、どこから来ましたか？福岡（ここには開催地名）以外の人！」と問いかける。



うなずき

■ 文脈・問題

- プレゼンテーションを始めたばかり。まだうまく笑いも取れず、観客の反応がつかめない。オーディエンスがどう思っているのか、リアルタイムにフィードバックを得たい。

■ 解法

- オーディエンスに向かって、『もし私の話にあるある』と思ったら、うんうんとうなづいてくださいね』という。

二人作業

- 文脈・問題
 - プレゼンタの話を知っているだけでは、眠たくなってしまう。知らない人の中で質問をするのは勇気が必要である。
- 解法
 - ペアを組んで、一つのことについて話し合ってもらったり、作業をしてもらう。そして、その内容を発表する。



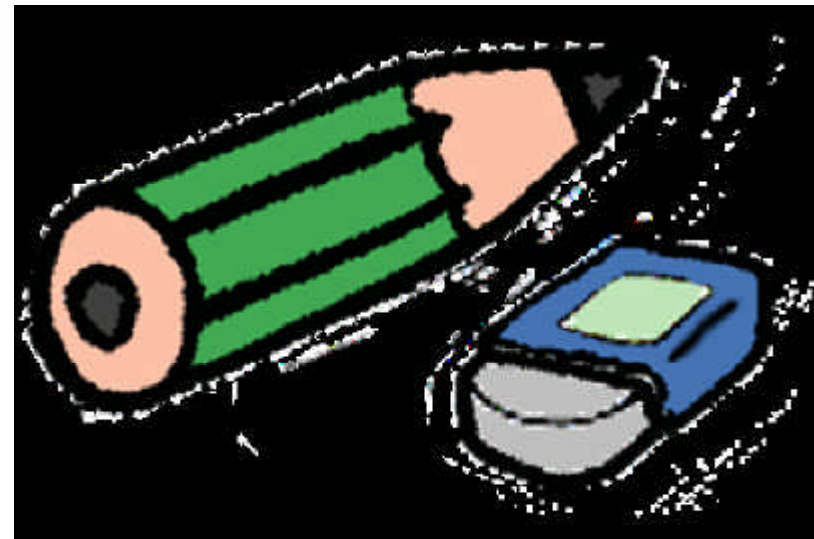
その場修正

■ 文脈・問題

- プレゼンタは、ときどき今自分が行っているプレゼンテーションのバグ (誤字や脱字) に気付く。これを直したい。また、このバグをうまく使って会場との一体感を得たい。

■ 解法

- プレゼンテーションを編集モードに切り替え、その場で直してしまう。



Without Practice, No Emergence

— 道元

会場へのダイブ

■ 文脈 問題

- プレゼンタが前に立って話し、オーディエンスが会場で席に座って聞いているだけでは、オーディエンスとの物理的な距離が開いたところで固定されてしまい、心的な距離も離れてしまう。心的な距離が離れているため、プレゼンタもオーディエンスも身構えてしまう。

■ 解法

- プレゼンタが会場の中に入り、ぶらぶら歩き回りながらプレゼンを行う。

小さな表彰

■ 文脈・問題

- プレゼンタが一方向的に話しているだけでは、プレゼンタとオーディエンスの溝が深まり、オーディエンスの眠気を誘ってしまう。オーディエンスは聞きたいことを聞きに来ているので、プレゼンタが話したいことを聞くというのは苦痛と感じしまう。

■ 解法

- 質問者に何かしらのグッズを渡し、小さく表彰する。渡すときは、プレゼンタがオーディエンスの近くに行き手渡す。



個人名の呼びかけ

■ 文脈 問題

- プレゼンテーションの最中に、自分の知人がオーディエンスにいることに気付いた。プレゼンテーション中に、会場に特定の知人を紹介したい。

■ 解法

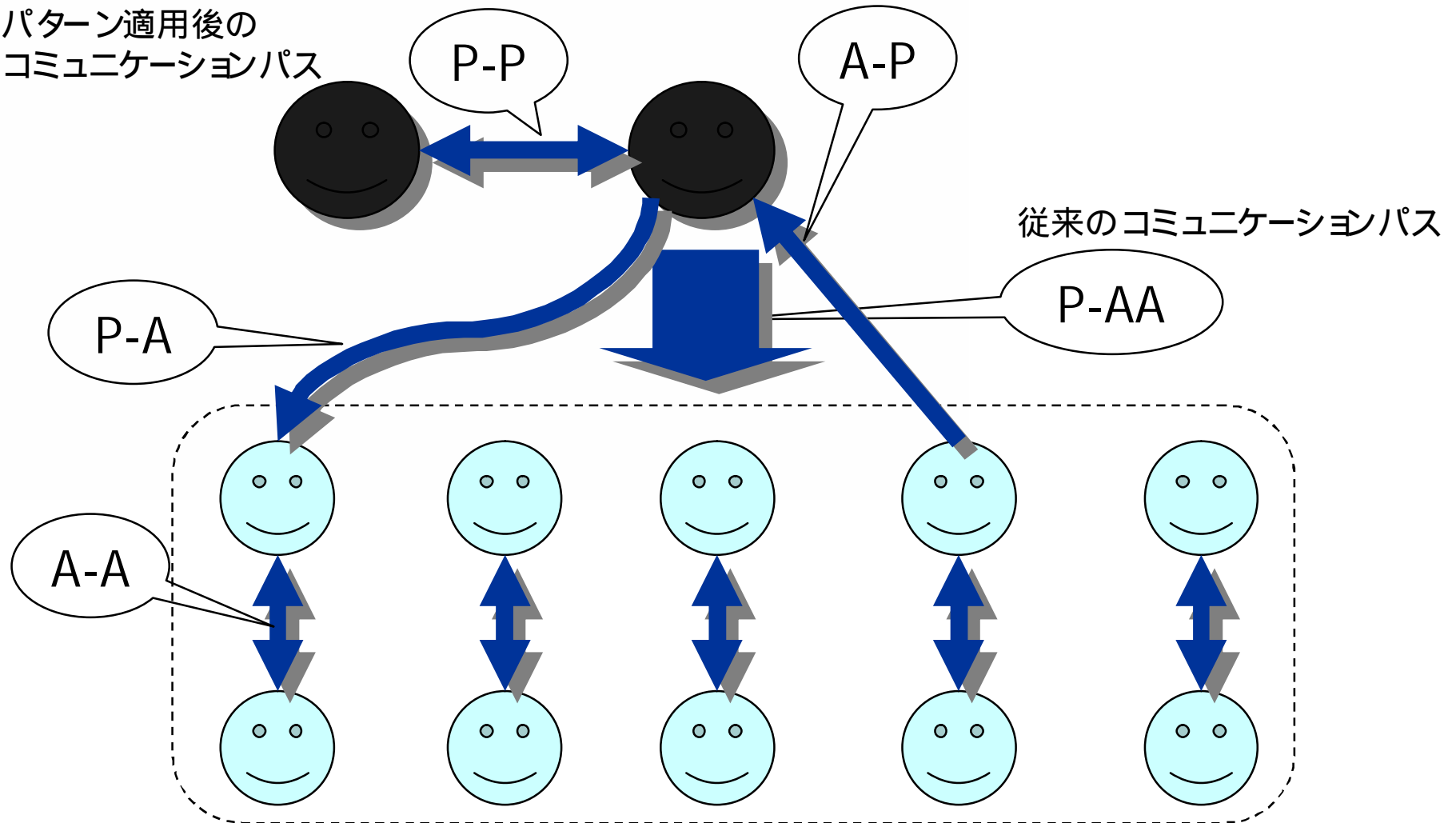
- プレゼンテーション中に、その人に個人名で呼びかけ、質問を振る。「 さんは、どうおもいますか? 」とか、「 さんは、このあたりに詳しいですよ? 」とか。

思いの伝達

- 文脈・問題
 - しめの言葉で、プレゼンタからのメッセージをオーディエンスが受け取り、行動につなげてもらうにはどうすればよいか。
- 解法
 - プレゼンタ自身の思いを、より強いイメージとともに伝える。

パターン適用の効果

パターン適用後の
コミュニケーションパス



パターンマップ

